

安全にご使用いただくために

⚠ 警 告

- 器具や電球（ランプ）を布や紙など燃えやすいもので覆わないでください。**火災・感電の原因**となります。
- 電球（ランプ）交換の際には、本体表示にしたがって、指定された電球（ランプ）を使用してください。指定以外の電球（ランプ）を使用すると、**火災や器具故障の原因**となります。
- 器具を改造しないでください。**火災・感電・器具故障の原因**となります。
- 万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、**火災・感電の原因**となります。すぐにスイッチを切ってください。異常がおさまったことを確認して、電器店・工事店に修理をご依頼ください。
- 無負荷状態及び電球（ランプ）寿命状態でご使用されますと、**電子式安定器の故障の原因**となります。電球（ランプ）寿命の際は、速やかに交換してください。

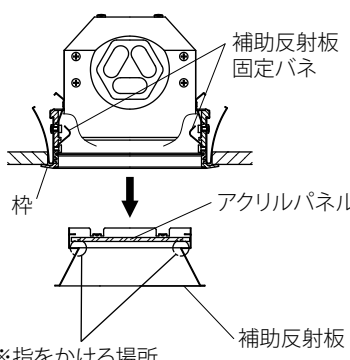
⚠ 注 意

- 電球（ランプ）交換や、お手入れの際は、安全のため電源を切ってから行ってください。**やけど・感電の原因**となることがあります。
- 電球（ランプ）と商品などの被照射物との距離には制限があるものがあります。器具表示にしたがって十分な距離をとってください。商品の退色だけでなく、**火災の原因**となることがあります。

■補助反射板の脱着

●取外し
アクリルパネルを押し上げ、補助反射板に指をかけて、両手で真っ直ぐ引き抜く。

●取付け
補助反射板を真っ直ぐ押し入れ、枠の補助反射板固定バネに確実に取付ける。



■器具の寿命

- 照明器具には寿命があります。設置して 10 年（使用条件は周囲温度 30℃、1 日 10 時間点灯、年間 3000 時間点灯です。）経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。
- 周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合などでは寿命が短くなります。

■器具の保証

- この商品の保証期間は 1 年間です。ただし、安定器は 3 年間です。ランプ・グロー点灯管等の消耗品は除きます。詳細は弊社カタログ及びホームページの最新版をご参照ください。
- 保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し入れください。
- 弊社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、6 年間保有しています。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

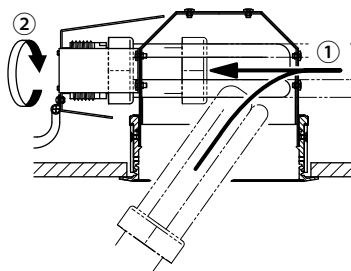
■電球（ランプ）交換

●電球（ランプ）の交換は、電源を切り器具の温度が下がってから行ってください。点灯中や消灯直後は、**やけどや感電の原因**となることがあります。

●電球（ランプ）交換の際には、本体表示にしたがって指定された電球（ランプ）を使用してください。指定以外の電球（ランプ）を使用すると、**火災の原因**となることがあります。

1. 取付け
①ランプの先端を本体の穴に通し、ソケットにランプを差込む。
②時計まわりに回す。

2. 取外し
取付けの逆の手順で行う。



■器具の点検

- 1 年に 1 回は弊社ホームページ記載の「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。3 年に 1 回は工事店等の専門家による点検をお受けください。点検せずに長時間使い続けると、**火災・感電・落下の原因**になります。

■器具のお手入れ

- 汚れを落とす場合は、必ず電源を切って行なってください。**感電・やけどの原因**となります。石鹸にひたした柔らかい布を、よく絞ってふきとり、乾いた布で仕上げてください。シンナー・ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。**変色・変質の原因**となります。

お客様相談窓口

マックスレイ株式会社

東京 03-3791-2711
大阪 06-6967-0123
名古屋 052-252-9556
福岡 092-431-7824

http://www.maxray.co.jp

取扱説明書

(ダウンライト)

MD20504-01 2011.0603

保管用

MD20504・20505・20514・20515

このたびは、マックスレイ照明器具をお買い上げいただきまことにありがとうございます。ご使用になる前に必ず本説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

施工者様へのお願い

器具の取付け、電気工事は電気設備技術基準に従って、有資格者が行って下さい。一般の方の工事は法律で禁止されています。工事終了後、この説明書は必ずお客様にお渡し下さい。

安全に施工していただくために

⚠ 警 告

- この器具は一般屋内用天井埋込照明器具です。床や壁に取付けたり、下記の使用環境、条件では使用しないでください。**感電・火災・落下の原因**となります。
 - ・周囲温度が 35℃以上の所
 - ・屋外の水のかかる所や、風呂場など湿気の多い（湿度 85% 以上）所
 - ・振動・衝撃の激しいところや、腐食性ガス・可燃性ガスの生じる所
 - ・粉塵の多い所
- 器具の施工は取扱説明書に従い確実に行ってください。施工に不備があると、**火災・感電・落下の原因** となります。
- 器具を改造しないでください。**火災・感電の原因**となります。
- 断熱材や防音材を器具にかぶせないでください。器具の過熱により、**火災の原因**となります。

⚠ 注 意

- 器具に表示された電源電圧の± 6% 以内で使用してください。**火災・感電の原因**となることがあります。
- 器具の取付け方向には制限のあるものがあります。器具表示にしたがって正しい向きに取付けてください。**火災や落下の原因**となります。
- スプリンクラーなどの防火設備に器具や電球(ランプ)の熱が影響しないように施工してください。**防火設備の誤作動などの原因** となります。

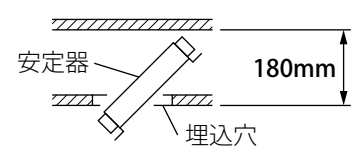
■付属品 商品には下記の物が同梱されています

- 取扱説明書×1

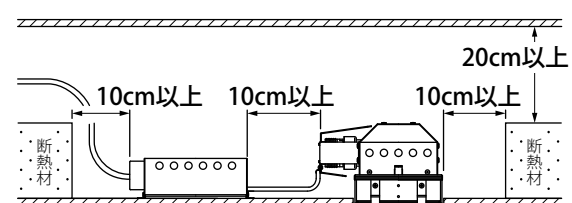
■取付方法 図は抽象化した共通図です

1. 取付け前の確認。

- 器具重量や電球（ランプ）の交換など器具の保守・点検の際にかかる力に十分に耐える様、取付け部の強度を確保してください。
- 器具の構造上、照射方向や取付方法によっては、野縁や野縁受け等と干渉する恐れがある為、埋込穴周辺100mm以内には設けないでください。
- 安定器と本体を設置するにあたり、下図の最低埋込深さを確保してください。



●断熱材を使用する場合、下図の間隔を設けてください。断熱材を上からかぶせたり、断熱材の上に安定器を置いたりすると、過熱による**火災の原因**となります。



●トリムレスタイプは、9.5mm又は12.5mmボード専用です。

(1)

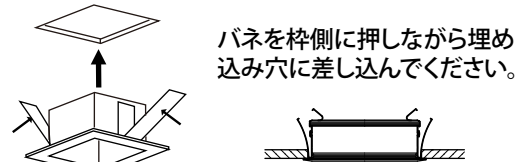
■取付方法 図は抽象化した共通図です

2. 天井に埋込み穴 (口 125 mm) をあける。

3. 枠を取付ける。

<バネタイプの場合>

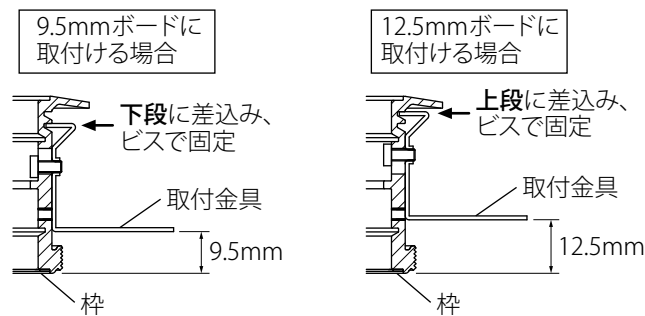
- ・開いたバネを枠側に押しながら、埋込穴に差し込んでください。
- ウォールウォッシャータイプには方向性があります。器体表示に従って正しく設置してください。



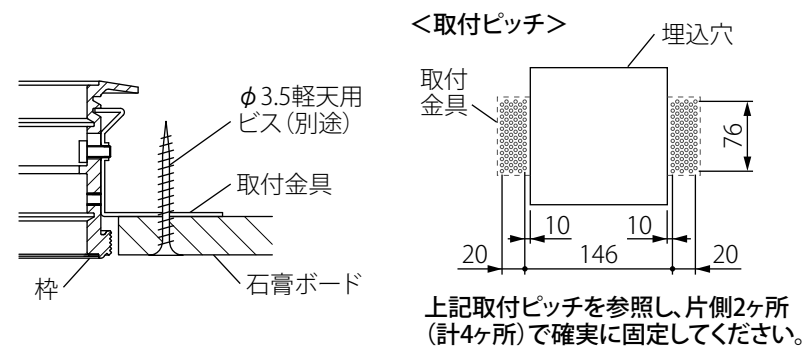
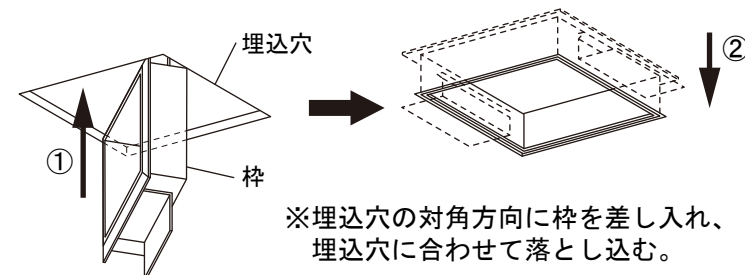
- 取付け可能な板厚は 5～20mm です。
- ロックウールなどの軟らかい天井には取付けないでください。

<トリムレスタイプの場合>

- ①天井材の厚みに合わせ、取付金具を付け替える。(2ヶ所・対辺)
 - 9.5mmと12.5mmの2段階で設定可能です。
 - 出荷時は9.5mmに設定しています。
 - ウォールウォッシャータイプには方向性があります。器体表示に従って正しく設置してください。

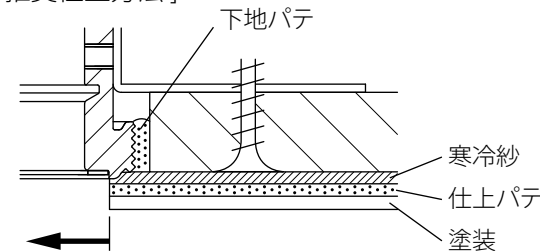


- ②枠を埋込穴に通して天井裏にセットし、軽天用ビス (別途) で確実に固定する。



- ③埋込穴と枠の隙間を仕上げる。
 - ヒビ割れが出ない様、パテ埋め・パテ仕上・施工は確実に行ってください。

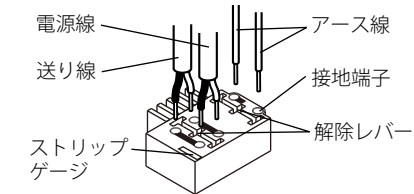
[推奨仕上方法]



※枠の内側にパテや塗装が付かない様にしてください。

4. 電源線を端子台に接続する。

- 右図参照
- この時必ずD種接地工事を行ってください。

Cuφ1.6 φ2.0専用
送り容量20Aまで

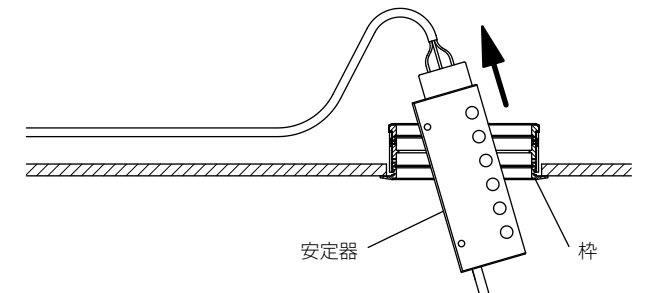
電源線とアース線の外部被覆をストリップゲージに合わせて剥ぎ取り、確実に差し込む。

- 差し込みが不十分な場合接触不良により、**火災の原因**となります。
- 外す時は、解除レバーをマイナスドライバーなどで押し、電源線を引っ張って下さい。

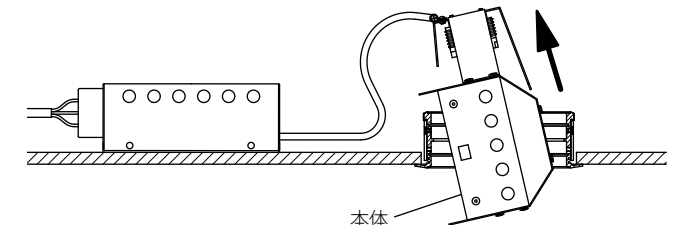
5. 本体を取付ける。

<安定器・本体 取付方法>

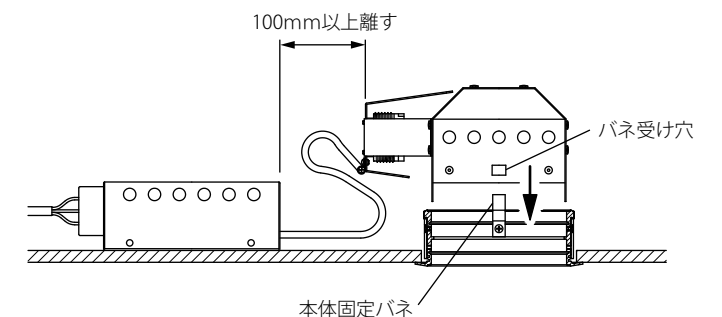
- ①安定器を枠に通し、天井裏に設置する。



- ②本体を枠に通し、天井内に入れる。



- ③本体を枠の上のにのせ、2ヶ所の本体固定パネで確実に固定する。



6. 本体に表示してある電球 (ランプ) を確実に取付ける。

- 裏面 電球(ランプ)交換 参照

7. 補助反射板を取付ける。

- 裏面 補助反射板の脱着 参照